

【令和7年度 広報誌「With IM」発行仕様書】

1. 【件名】

公益財団法人国際人材育成機構広報誌「With IM」(主に会員企業向け)の制作・発送について、企画・取材・編集から印刷、発行、納品、発送までを行うものとする。

2. 【目的】

- ①職場や地域における技能実習制度や特定技能に対する理解を促進し、興味・関心を醸成する
- ②実習先における安全衛生活動の推進と管理水準向上の一環として有益な情報を提供する。
- ③開発途上国への企業進出に関する調査研究および支援事業の一環として、派遣国の社会経済情勢や労働事情等の情報を提供する。

3. 【契約期間】

令和7年4月1日～令和8年3月31日

4. 【発行時期】

年2回(6月、12月)

5. 【配付先】

- ①会員企業及び実習先
- ②支局・本部
- ③その他関係者

6. 【仕様案】

項目	With IM	挨拶状
発送先	・会員企業(実習先) ・支局、本部 ・その他関係者	会員企業

体裁	1.《冊子》 ・サイズ A4 ・印刷 カラー両面 ・頁数 8 頁（表 1/表 4 含む） ・加工 中綴じ、左開き/横書き ・用紙 マットコート 90kg 2.《デジタルブック》	サイズ A4 ・印刷 白黒 ・頁数 1 頁
印刷部数	3,000 部±20%	1,800 部±5%

7. 【誌面構成】

With IM

令和 7 年度 誌面構成	
1 頁	表紙写真(業者による撮影)
2～4 頁	頑張れ技能実習生
5 頁	かがやけ！技能実習修了生
6 頁	安全衛生(原稿は当機構担当者が執筆)
7 頁	支局便り・編集後記
8 頁	海外投資情報 /アイム・ジャパンネットワーク
ページ割は変更の可能性あり	

挨拶状—A4 サイズ 1 枚の PDF データを提供する

8. 【業務内容】

(1) 発行スケジュールの提供

取材、執筆、編集、初稿、校了、デジタル版提供、納品、発送 等。

(2) 「With IM」の企画編集に関する一連の作業

記事の企画、取材、写真撮影、原稿作成、編集、誌面デザイン・レイアウト、校正。

(3) タイトルロゴ作成を含む表紙(巻頭特集)などのデザイン・レイアウト

(4) 校正

① 初稿提出は、原則印刷の 2 週間前までに電子メール等により行う。

② なお、原稿が電子データ(Word、Excel、JPEG 等)でない場合や原稿校正の作業過程において、受注者にデータの直接入力を依頼することがある。

③ レイアウトは全体構成の中で文字・写真・イラスト・図表等を効果的に配置し、読者が読みやすいものとなるよう編集すること。詳細は発注者と協議の上、決定する。

④ 校正作業は、発注者の指示に従い行う。

(5) データ納品

受注者は発注者の確認を経て校了後、速やかに当機構の公式サイトに掲載するデジタルブック用 HTML5

データ及び PDF データを納品する。

(6) 印刷・製本

受注者は発注者の確認を経て校了後、速やかに広報誌及び挨拶状の印刷・製本作業に入る。

(7) 梱包・発送・発送主

受注者は、発注者が指示した発送先(発送先参考資料 参照)に対し梱包・発送する。

なお、梱包用封筒等は受注者が調達することとし、形式については発注者と協議の上、決定する。ただし、DM 便の場合は、各便ビニール封筒に梱包すること。

発送主は発注者とし発送者は受注者の社名を記載することとする。

(8) 発送業務には、次の事項を全て含むものとする。

- ① 全国支局・関連企業・団体等への発送
- ② 第 1 条に記した広報誌及び挨拶状の封入・梱包費
- ③ 保管費用、発送用封筒等費用
- ④ 全数の検品

(9) 発注者は発送に関し、受注者に発行日の 2 週間前を目途に次の情報を提供する。

- ① 必要部数資料
- ② 発送仕様書
- ③ 発送先リスト(エクセル形式)

(10) 梱包重量によりヤマト運輸 DM メール便・宅配便等を使い分けて全ての発送を遂行する。

(11) 宛先不明等で返送されたものについては、速やかに発注者に連絡し受注者より再送、もしくは発注者に返送する。

9. 【注意事項】

(1) 受注者は、発注者の求めに応じて、業務の進行状況等の報告を行うこと。

(2) 受注者は、本業務を優先して行える担当者を置くこと。

(3) 本仕様書に記載のない事項の決定に当たっては、発注者と受注者間で協議の上で決定することとする。

(4) 成果物・著作権(文章及び写真/イラスト/図表等)に係る著作権は全て発注者に帰属するものとする。(2 次加工有り)

(5) 納品に係る運賃(納品は、後述発送分(発送仕様書による)以外を発注者に納品。発送後、残部を納品。納品日時を連絡すること。また、会員企業等関係団体への発送も生ずるがこの運賃も含む。発送作業については、他社等委託でも構わないが、完成後、即、発送する体制がとれるようにすること。受注者は発送業者に再委託する場合でも、発送におけるスケジュール管理を行うものとする。

(6) 見積価格は、企画・取材・編集・原稿作成・写真/イラスト/図表等・印刷・納品・発送までを含むものとする。ただし 150km 以上の移動費及び宿泊費は含まない。

(7) 写真については、全てのデータを発注者に納品後、原稿にレイアウトすることとする。

(8) 「With IM」の制作にあたり、当機構会員企業への訪問・取材を見込んでいる。その際は、記者(取材のできる方)及びカメラマンの同行を依頼することがある。取材時に撮影した写真とテープ起こしを元に、受注者にて原稿を作成する。

(9) 取材時の交通費については、片道 150km 以下は支給無し、150km 以上の移動費、宿泊費は 8,000 円/泊/人(2 名まで)を上限として発注者が実費を支払う。

- (10) 発行回数、配布先、仕様、誌面構成はあくまで予定であり、事前通告なしで発注者の都合により変更されることがあるものとする。
- (11) 発行部数は「With IM」は増減 20%まで単価に変更ないものとする。ただし 1 回の増減が規定の幅を超える場合、又は規定未満の場合は、都度協議する。
- (12) 「With IM」はカラー印刷とし、各ページに、写真/イラスト/図表等を複数使用する。尚、ページにより使用数は増減する。
- (13) 表面には、広報誌タイトルロゴ、発行年月、号数、法人名称を入れる。
- (14) 受注者は各号ごとに、広報誌への使用が許可されたものでかつ、テーマに沿った写真/イラスト/図表等を用意し、効果的に配置すること。その際、各要素の位置やサイズ等は各号間でおおよそ統一することとする。
- (15) 誌面で使用する写真/イラスト/図表等は、原則受注者が用意するが、必要に応じ、発注者から提供するものの使用を依頼することがある。

< 発送先参考資料 >

発送する冊子は、広報誌「With IM」最新号(No.11)をご参照ください。

1 内容物				※12/02データ抽出
・With IM No.011	会員企業様他用 実習先に1冊送付※実習生20名以上は追加 実習生用 実習生数送付	契約部数…	3,000	(上限20%増)
・送り状……会員企業様、支局、駐在員事務所、本部、春日部トレーニングセンター		送り状	With IM	
2 総印刷部数	……………	(A+B)合計	1,948	3,048
(※各受入企業は受入20名以下=追加1部、以上20名につき1部追加)				
A 送付先印刷部数		～内訳～		
		A計	1,921	2,447
				送付先・部数
①会員企業 (①-1,①-2,①-3) ※下記早見表参考……………			1,835	1,938
				1835か所・1938部
②14か所支局送付 (東京支局は本部同梱)			66	401
				14か所・401部
③非会員特別な住所			20	70
				11か所・70部
④理事・評議員			0	19
				19か所・19部
⑤その他			0	19
				19か所・19部
B 本部受領分	……………	B計	27	601
・本部(業務推進用・広報活動用) ※送り状及び端数以外は50部ずつに梱包			1	500
・本部 (東京支局他3社同梱分) ※送り状及び端数以外は50部ずつに梱包			11	51
				1か所601部
・駐在員事務所 (10×5) ※10部ずつ梱包			15	50
送付部数、送り先計 : 1900か所・3048部				

令和6年12月実績

印刷部数 :

With IM 3048 部

送り状 1948 部

送り先 :

1900 か所

人・企業・国を結び、アジア新時代を共に築く

With IM

アイム・ジャパン広報誌

ウィズ・アイム

No.011

2024



Interview

がんばれ! 技能実習生 — For the Future

高崎支局 / 株式会社コバヤシ
スーパーオートバックス MAEBASHI 様

P.5 **かがやけ! 技能実習修了生**

サマラヴィーラ アーラッチゲー レースカー ディルルクシ ペレーラーさん

P.6 **“ヒヤリハット報告活動”により、労働災害を撲滅しよう!!**

P.7 **支局だより** 関西支局 / 岡本株式会社 様

P.8 **海外投資ニュース PickUP!!**

アイム・ジャパン
Im Japan

有限会社 国際人材育成機構



アイム・ジャパン技能実習生のがんばりが、より良い未来へとつながりますように...

がんばれ!

技能実習生

For the Future...

カー用品販売や車の整備・車検などを手がけるスーパーオートバックス MAEBASHI（群馬県前橋市）では、インドネシア出身の4人の技能実習生が、ベテランの自動車整備士とともにてきぱきと作業をしています。お客さまからの信頼も厚いという、その秘訣に迫ります。

「見て学び、やって覚える」で技術がぐんぐん向上

車種によって少しずつ構造が違うので、一つひとつ覚えています



リズキさん（3年目）

「お待たせいたしました！」

ずらりと並ぶ15のピットに、車検や整備のための車が次々とやってくる「スーパーオートバックス MAEBASHI」。ここで自動車整備を学んでいる技能実習生たちは、ベテラン整備士のもとで整備からお客さま対応までを任されていて、ときおり彼らがお客さまと交わす元気な声も聞こえてきます。

現場になくはない存在

技能実習生を受け入れた当時のことについて、常務執行役員で実習責任者の竹井浩己さんはこう話します。

「受け入れを始めたのは、技能実習制度の対象に自動車整備職種が加わった2017年のことです。もちろん心配はありましたが、思っていたよりも日本語が通じて、日本人の若者とさほど変わらないなという印象でした。むしろ一生懸命で、今では現場に欠かせない存在になっています」

手厚いサポートはあえてしない

実習生が担当するのは主に車検に伴う整備やオイル交換、タイヤ交換が中心で、自動車整備は安全・安心に関わる作業です。「彼らには日本語も身につ

難しいのは輸入車の整備。でも、そのぶんやりがいもあります！



ワフユさん（2年目）

けて欲しいので、インドネシア語のマニュアルは原則作りません。その代わり、最初は先輩とペアになって作業を進めるようにしました。幸い、自動車整備は“見て覚える”ことができますので」と竹井さん。

すると1年も経つと一人でも適切に整備ができるようになり、それが2期生、3期生と実習生の受け入れを続けるきっかけに。今では実習生の先輩が後輩をサポートするなど、良い循環もできているそうです。

実習生同士で切磋琢磨

「それ以外は、あえて何もしていませんよ」と笑顔で話すのは、総務部長の神宮弘一さんです。つまり、世話を焼きすぎないこと。それにより実習生の間には「わからないことがあったら日本人スタッフに聞きます（ルリさん）」「先輩に教えてもらいます（ワフユさん、リズキさん）」「メモを取るようにしています（ヘンドリさん）」といった姿勢が生まれ、仲間同士の連携も抜群に。互いの存在が安心感にも刺激にもつながり、中には日本人スタッフよりもスピーディにタイヤ交換ができるようになったメンバーもいて、成果が上がっていると感じます。

お客さまからの応援メッセージも

彼らの努力する姿勢や一生懸命さが伝わってか、お客さまからの評判は上々とのこと。店舗のアンケートには「〇〇さん頑張ってください」「〇〇さんにまたオイル交換を担当してもらいたい」など、実習生の名前入りで応援メッセージが届くことも少なくないそうです。



社員旅行で東京・浅草に行きました。
写真から雰囲気の良いさが伝わってきます

好きなのはブレーキパッドの交換！
日本語もN3の勉強中です



ヘンドリさん（2年目）

最初はエンジンオイルの量に苦戦したけれど、今は任せてください



ルリさん（5年目）



株式会社コバヤシ
スーパーオートバックス MAEBASHI
<https://www.kobayashi.kuruma1ban.com/>

車に関するさまざまなサービスを提供する店舗として「スーパーオートバックス MAEBASHI」のほか、群馬県内にオートバックス5店舗、埼玉県本庄市に1店舗の合計7店舗を展開している。

総務部長・神宮弘一さん



常務執行役員・竹井浩己さん





スーパーオートバックス MAEBASHI 技能実習生 成長の3つの秘訣

熟練のスタッフと一見ただけでは見分けがつかないくらい、スマートに自動車の整備や接客をする4人の実習生。その成長の秘訣についてお伺いしました。

① 先輩とマンツーマンで学ぶ

日本に来たばかりの実習生は、日本語を完全に理解することは大変です。ならば「見て学ぶ」がスーパーオートバックス MAEBASHI 流。最初の1年ほどはベテラン整備士や先輩とマンツーマンで実習を進め、機会があれば手も動かしてコミュニケーションをとる。それによって、技術をどんどん伝えています。



まずは「見て学ぶ」
そして「やって覚える」です



② 実習生だからと特別扱いしない



「危ないから」「日本に来たばかりだから」と必要以上に作業を限定したり、インドネシア語の資料を作ると成長の機会をなくします。特別扱いはせず、毎週土曜日の新商品の勉強会や、年に1回の決起集会にも皆が参加。それが、「勉強しよう」という意識につながっています。



毎年3月の決起集会には
実習生もスーツ姿でのぞみます。
スーツは入社記念に会社から
プレゼントしています

③ 競い合う場を設ける

毎年、系列7店舗が合同で、接客やタイヤ交換の技術を競うコンテストに実習生も参加。指導する側として技術のレベルチェックができることはもちろんですが、実習生にとっては身に付けたことの確認ができたり、「頑張ろう」と思うきっかけになったりもしています。日本人スタッフも交えたコンテストでは、実習生が優勝した年もあるそうです。



コンテストに向けて
勉強にも力が入るようです



》日本での実習経験を活かし、母国できらりと輝く活躍をしている修了生の「今」を伝えます。

わがや！

技能実習修了生

to the Next Future



サマラーウィーラアラーチゲレーヌカーティルクシペレーラーさん
Ms.SAMARAWEERA ARACHCHIGE RENUKA DILUKSHI PERERA



レーヌカーさんのあゆみ

- 2018年 9月 日本に入国
- 2021年 9月 技能実習2号修了/スリランカに帰国
- 2022年 7月 日本語教室を開く
- 2023年 11月 「えんじゅ日本語学校」の日本語講師になる
- 2024年 5月 日本語とシンハラ語の宣誓翻訳資格を取得



レーヌカーさんの授業風景。自身の技能実習の経験も生かしながら日本語を指導しています



ENJU NIHONGO ACADEMY えんじゅ日本語学校

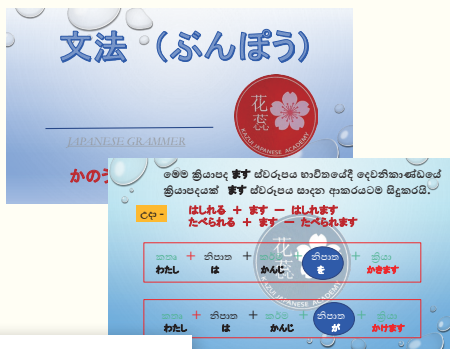
レーヌカーさんの実習先だった LIFE・DESIGN 株式会社の代表が2023年に開校。日本語だけでなく、介護実習の基礎知識も学べるのが特徴

『おしん』をきっかけに日本語を勉強

子どものときにテレビで『おしん』を観て、日本語に興味を持っていた私は、大学で日本語を勉強。2018年から憧れの日本で3年間の介護実習を終了し、日本で学んだことを生かして、スリランカに新しくできた日本語学校の講師になりました。

経験を生かして後輩たちをサポート

新しい学校の特徴は、日本語だけでなく、介護実習に必要な知識や技術も学べることです。例えば技術面では、スリランカではあまりチームで仕事をしないので、日本のようにグループやペアで活動する練習をしています。一方、言葉の面では、私は実習中に「ぜんぜんない」と「ぜんぜん大丈夫」という「ぜんぜん」の意味の違いや、「大丈夫」という言葉のニュアンスに苦労したり、「Yes/No」の返事が曖昧なので、戸惑ったりすることがありました。そのたびに周りの人に聞いて少しずつ慣れていきましたが、日本に行く前からわかっていたら、もっとスムーズに現場になじめたはず。そんな思いから、経験をもとにオリジナルのスライドを作り、日本での実習が少しでも充実したものになるよう指導しています。その結果、二人の生徒が特定技能制度で日本に行くことが決まり、とてもうれしく思うところでした。



レーヌカーさんから後輩たちへ

仕事も日本語も、共に頑張らしましょう。
සමඟින් සේවයන් කිරීමේදී උත්සාහයක් එකතු කරමු.

レーヌカー ティルකුシ

レーヌカーさん手製のスライド。これですでに日本語の基本的な文法を学んでからテキストに移ります



介護実習では長崎の「ショートステイ王樹」へ。スリランカの地元と雰囲気が似た地域で、過ごしやすかったそうです



日本語学校では、チームで活動する練習として、みんなで飾りを作ったり、ペアで作業したりします



技能実習中に参加していた日本語研修会のクラスメイトと



テキストは、独立行政法人国際交流基金（The Japan Foundation、JF）が公開しているものを活用



“ヒヤリハット報告活動”により、 労働災害を撲滅しよう!!



公益財団法人
国際人材育成機構
社会保険労務士
原田 芳幸

作業をしていてヒヤリとしたり、ハットしたりしたものの、大事には至らなかった——。そのような事例を共有し、労働災害の撲滅に結びつけようというのが「ヒヤリハット報告活動」です。その進め方などを紹介します。

1 ヒヤリハットとは？

ヒヤリハットとは、「ヒヤリとした」「ハットとした」を掛け合わせた造語で、重大な事故・災害になりかねないできごとや体験を指します。幸い災害に至らなかったとしても、重大な災害や事故が起こる寸前のできごとといえます。くり返されることで、いつか重大な事故につながる可能性もあります。

2 ハインリッヒの法則

アメリカの損害保険会社の安全技師だったハインリッヒ氏は、事故事例を調査・分析し、労働災害における経験則として「1:29:300」という法則を提唱しました。これは、1件の重大事故の背景には29件の軽微な事故があり、さらにその背後には300件のヒヤリハット事例があるという意味で、**ハインリッヒの法則**と呼ばれています(右図)。

つまり、ヒヤリハットには、重大事故のリスクが潜んでいるのです。



図 ハインリッヒの法則

3 ヒヤリハット報告活動

ヒヤリハットを共有することは、職場にどのような危険があるかを把握し、事前に対策したり、危険への認識を深めたりするのに効果的です。些細なことでもためらわずに共有しましょう。

ヒヤリハット報告活動の流れ

- 1 ヒヤリハットを体験する
- 2 ヒヤリハット報告書を作成し、安全担当者等へ渡す
- 3 安全担当者等は、改善の方法などをコメントで記載する
- 4 安全教育の場、回覧等を通し、作業者全員に周知する

4 ヒヤリハット報告活動のポイント

- ✓ **ヒヤリハットの報告** 記憶は時間とともに薄れます。発生したらすぐに、遅くとも終業時までには所定の用紙で安全担当者に報告することを周知します。
- ✓ **報告者の責任は追及しない** 責任を追及すると、報告が出にくくなってしまいます。報告はあくまでも事故予防のために活用しましょう。
- ✓ **ヒヤリハットを改善に活かす** すぐに原因を究明し、対策することが重要です。
- ✓ **ヒヤリハット情報の共有** 情報は同種の作業を行っている人にも共有し、同じことが繰り返されないようにしましょう。



5 技能実習生にとってのヒヤリハット報告活動

ヒヤリハット報告活動は、技能実習生にとっては次のような意味もあります。

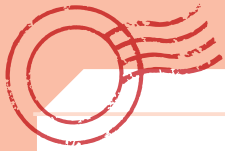
- 1 **職場に潜む危険の認識** 日本の現場を初めて経験する実習生に対し、職場内にどのような危険があるかを認識してもらうことができます。
- 2 **危険感受性の向上** 自分のことだけでなく、周りで起こったヒヤリハットを知ることで、危険に対する感受性を高められます。
- 3 **危険予知訓練(KYT)との連動** ヒヤリハット報告活動で蓄積された情報を、危険予知訓練(KYT)に活用することで、自身が体験したヒヤリハットをより深く理解することにつながっていきます。

厚生労働省の「職場のあんぜんサイト」には、2500件を超える災害事例、441件のヒヤリハット事例が紹介されています。改善策を検討する際の参考にしたり、教材として活用したりすることも有効です。

▶ 職場のあんぜんサイト
「ヒヤリ・ハット事例」
<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/hiyari/anrdh00.html>



参考：厚生労働省「R4年度外国人労働者安全衛生管理の手引き」



関西支局
河原職員

支局だより

AIM・ジャパンの国内15拠点の中から、関西支局より、帰国後も修了生との縁が続いている岡本株式会社を紹介します。

実習修了後はタイ工場の即戦力に

技能実習生として靴下製造の高い技術を身につけたのち、修了後は母国でグループ工場に就業して、今度は企業の一員として力になってくれる——。岡本株式会社様は、そのような良い関係が自然と続いている企業です。

タイから技能実習生を受け入れるようになって3期目。実習生はタイの工場で1か月間の研修を受けてから来日することもあり、「すぐに機械の扱いに慣れ、優秀です」と指導担当の桐谷信慶さんは話します。でも、そこには企業側の手厚いサポートも。例えば実習生とはわかりやすい言葉で話すことはもちろん、実習生が覚えるのに苦戦した用語などはリスト化して代々共有。定期的に日本語の勉強会も実施するなど、成長につながる工夫をたくさんされています。

実習生は「また戻ってきたい」

一方、技術面は「せっかく日本に学びに来たのだから」と、ただ機械を動かすだけでなく、機械の調整やメンテナンスといった専門的な技術をどんどん教えられています。

そのような環境もあってか、実習生のジャカバンさんとラッタナゴーンさんは、2年目にして「またここに戻ってきたい」「修了後はタイ工場で働きたい」と常に前向きです。先日は、タイ工場で働く修了生が、現地を代表して工場に報告に訪れる機会もあり、実習生にとってますます刺激になったと思います。[関西支局 河原]

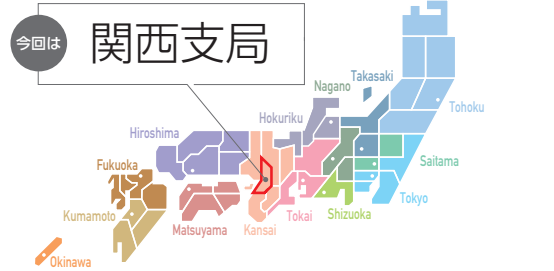


ラッタナゴーンさん(左)とジャカバンさん(右)。休日も充実!



休日は桐谷さん(右)が釣りなどに誘うことも。左はラッタナゴーンさん

IM JAPAN service network



今回は 関西支局

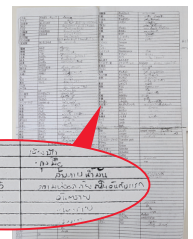
my socks my style!



チームの皆さんと。「関西弁ではなく標準語で、ゆっくりとわかりやすい言葉で話すことをみんなで心がけています」と桐谷さん



実習生の担当は靴下を編む最初の工程。一人で20~30台を受け持ちます



覚えにくい言葉リスト。メモ帳に貼って携帯している実習生も



日本語勉強会。検定試験前は週3回ペースで開催しています



1期生が来た時から「いずれ戻ってきてくれたらいいね」と話していたので、現実になりうれしく思っています。日本には高いスキルを持った技術者がいるので、しっかり学んで、母国でリーダー的存在になって欲しいです

実習責任者・小野 剛さん



岡本株式会社
奈良県広陵町(本店)
<https://www.okamotogroup.com>

靴下を中心とするレグウェアを扱う専門メーカー。タイにも自社工場を持つ



編集後記

巻頭取材で群馬県高崎市を訪れました。駅で目にした名産品のだるまに「雨が降りませんように」と祈りつつ取材先へ。願いが通じたかのように天気は持ちこたえ、屋外での撮影が叶いました。指導されている方のお話を伺いながら、キビキビとお客様の車を誘導、整備する実習生の姿に、「七転び八起き」の言葉が重なりました。



ご寄稿・お写真
お待ちしております!



ご寄稿メールアドレス
otayori@imm.or.jp
業務推進部 広報課



経済特区(SEZ)、6カ所の新設と1カ所の拡張を承認

(インドネシア)

ジャカルタ発

2024年10月22日

インドネシアの経済特区国家評議会は9月25日、経済特区(SEZ)6カ所の新設と既存経済特区1カ所の拡張を承認したと発表した。7カ所で総額約1,089兆8,400億ルピア(約10兆3,500億円、1ルピア=約0.0095円)の投資獲得と、140万人以上の雇用創出を目指す(2024年9月25日記事 [https://kek.go.id/media/press/dewan-nasional-setujui-usulan-6-kek-baru-dan-perluasan-kek-nongsa-untuk-tarik-investasi-hingga-rp1-000-triliun] 参照)。

新設の6カ所はそれぞれ、ハラル製品の製造・物流を推奨業種とする東ジャワ州シダルジョ県の「シダルジョ・ハラル工業経済特区」、石炭ガス化加工やエネルギー開発を推奨業種とする東カリマンタン州東クタイ県の「BCIP 経済特区」、石油化学や電気自動車(EV)バッテリー、半導体、物流、エネルギー開発を推奨業種とする西ジャワ州スバン県の「パティンバン経済特区」、EVの生産・組み立てと物流を推奨業種とする「スバン経済特区」、アルミニウムなどの

生産と加工、物流、再生可能エネルギーの開発を推奨業種とする北カリマンタン州ブルンガン県の「マンクパディ経済特区」、ガラス、履物などの生産を推奨業種とする中ジャワ州バタン県の「バタン統合工業団地経済特区」。

拡張の対象は、リアウ諸島州パタム島のIT経済特区「ノンブサ・デジタル・パーク(NDP)」で、データセンター開発が目的となっている。

今後、経済特区国家評議会が大統領に対し、これら経済特区の新設と拡張に関する政令の制定を勧告する。経済特区に指定されると、法人所得税の一時的な減免や法人所得税便宜が優先適用されるほか、輸入にかかる諸税〔付加価値税、前払い法人税、奢侈税〕の不徴収などの便宜が供与される。

(八木沼洋文)
(インドネシア)

— 出典: 日本貿易振興機構(JETRO) <https://www.jetro.go.jp>

バングラデシュ訪問団のお知らせ

アトム・ジャパンでは、2017年にバングラデシュ人民共和国海外雇用省と協定を締結して以来、これまで1000名ほどの技能実習生を受入れております。

そこでこのたび、アトム・ジャパン主催による、首都ダッカ管区の主要機関への表敬訪問や観光地を巡る訪問団を企画しました。

当機構の通訳職員やアテンドスタッフも同行しますので、ぜひ、多くの会員企業の皆様、また関係機関、さらには一般の方のご参加をお待ちしております。

参加ご希望の際は、下記までご連絡をお願いいたします。

日程: 2025年1月23日(木) ~ 2025年1月31日(金) (7泊9日)
参加費: 250,000円(予定)

(エコノミー航空券代、ホテル代、食事代(一部除く)、保険代込み)

※パスポート取得費用、国内移動費は含まれません。

受付窓口: kokusai-seminar@imm.or.jp (担当: 国際部 シャー、井出)



公益財団法人 国際人材育成機構

● 本部	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町36-2 Daiwa リバーステート 20階	☎ 03(5645)5621代
● 北海道支局	〒001-0010 北海道札幌市北区北十条西4-1-19 楠本第10ビル7階	☎ 011(729)1616
● 東北支局	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区福岡5-8-11 ナガイビル6階	☎ 022(292)3430
● 東京支局	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町36-2 Daiwa リバーステート 20階	☎ 03(6264)9600
● 埼玉支局	〒330-0062 埼玉県さいたま市浦和区仲町1-14-8 大樹生命浦和ビル5階	☎ 048(815)9602
● 高崎支局	〒370-0828 群馬県高崎市宮元町227 高崎ステージビル6階	☎ 027(381)6947
● 長野支局	〒390-0851 長野県松本市島内3505 インベリアルプラザ松島2階	☎ 0263(48)3731
● 静岡支局	〒430-0939 静岡県浜松市中央区連尺町314-31 アーバンスクエア浜松ビル7階	☎ 053(488)6661
● 東海支局	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-8-24 綿常第5ビル9階	☎ 052(223)1921
● 北陸支局	〒930-0023 富山県富山市北新町2-2-7 今井ビル4階	☎ 076(471)7641
● 関西支局	〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町1-3-5 いちご内本町ビル10階	☎ 06(6944)0521

全国に広がるアトム・ジャパン サービスネットワーク

北海道から沖縄まで日本全国をカバーしています。
お問い合わせはエリアを担当する支局・事務所まで。



<https://www.imm.or.jp/>

● 広島支局	〒732-0824 広島県広島市南区的場町1-3-6 広島の場ビル3階	☎ 082(568)1701
● 松山支局	〒790-0003 愛媛県松山市三番町4-4-6 松山センタービル2号館3階	☎ 089(993)5340
● 福岡支局	〒812-0023 福岡県福岡市博多区奈良屋町3-1 ヒロカネビル3階	☎ 092(710)5761
● 熊本支局	〒860-0041 熊本県熊本市中央区細工町4-12-12 SRビル4階	☎ 096(223)5333
● 沖縄事務所	〒900-0005 沖縄県那覇市天久2-30-27 元氣堂天久ビル2階	☎ 098(951)1616

海外駐在員事務所



● ジャカルタ	C/O. B2PLKLN CEVEST BEKASI JL. Guntur Raya No. 1 Kayuringin Jaya Bekasi Selatan Bekasi Jawa Barat, 17144, Indonesia	☎ 62(21)88856371
● バンコク	12th Floor, Social Security office Section 3 Building, Ministry of Labour, Mit-maitri Road, Dindaeng, Bangkok 10400, Thailand	☎ 66(2)2450801
● ハノイ	6F 41 B LY THAI TO Str., Hanoi, Vietnam	☎ 84(243)9369001
● ダッカ	6th Floor, Bureau of Manpower Employment and Training (BMET), 89/2 kakrail, Dhaka-1000, Bangladesh	☎ 88(02)8300262
● コロンボ	C/O. SLBFE(Sri Lanka Bureau Of Foreign Employment) 5th Floor , Mehwera Piyasa, Narahenpita, Colombo 5, Postal Code 00500, SRI LANKA	☎ 94(11)2365643